

「紙の切れ」のない紙燃糸製造技術の開発



製品・技術などの
名 称

「紙の切れ」のない紙燃糸およびその製造方法

シート状の紙を細長くスリットし、撚りをかけることで紙燃糸ができます。紙燃糸の生産、またはできた紙燃糸を織り編みする際の最大の課題は「紙の切れ」です。特に再生紙はパルプの強度が弱く切れやすいです。原紙や紙燃糸に薬剤処理して強度を上げる方法や、全体を硬く撚ることで紙の切れを抑制する方法がありますが、どちらも紙の持つしなやかさが低下して肌触りや風合が悪くなります。開発した撚糸技術は強度を有する芯材にスリット状の紙をふわりと螺旋状に巻き付け、更に紙のほぐれ防止のため抑え糸を巻き付ける方法です。これにより、強度の弱い再生紙や紙に機能性コーティング加工を施した素材も、柔らかで加工強度を有する糸として生産が可能となりました。



推薦機関からのコメント

紙を含む撚糸（紙燃糸）をつくる際やできた紙燃糸を織編物に使用する際の最大の課題である「紙の切れ」を解決するため、新たな撚糸技術を開発しました。この技術によりリサイクルパルプ量が50%を越える強度が弱い再生紙を用いても「紙の切れ」なく撚糸することが可能となっています。

公益財団法人 わかやま産業振興財団 テクノ振興部
和歌山県和歌山市本町2丁目1
tel : 073-432-5122 fax : 073-432-3314

企業からのメッセージ

リサイクルパルプの多い再生紙を用いても「紙の切れ」のない紙燃糸製造技術を開発しました。また紙へのコーティングとの組合わせで機能性繊維・織編物も作製可能となり、世界に向けて発信できる紙燃糸技術に進化しました。

企業情報

林燃糸株式会社
代表取締役 林 雄太

和歌山県橋本市高野口町名倉879
tel : 0736-42-3205 fax : 0736-43-0784
<https://hayashi-nenshi.jp/>